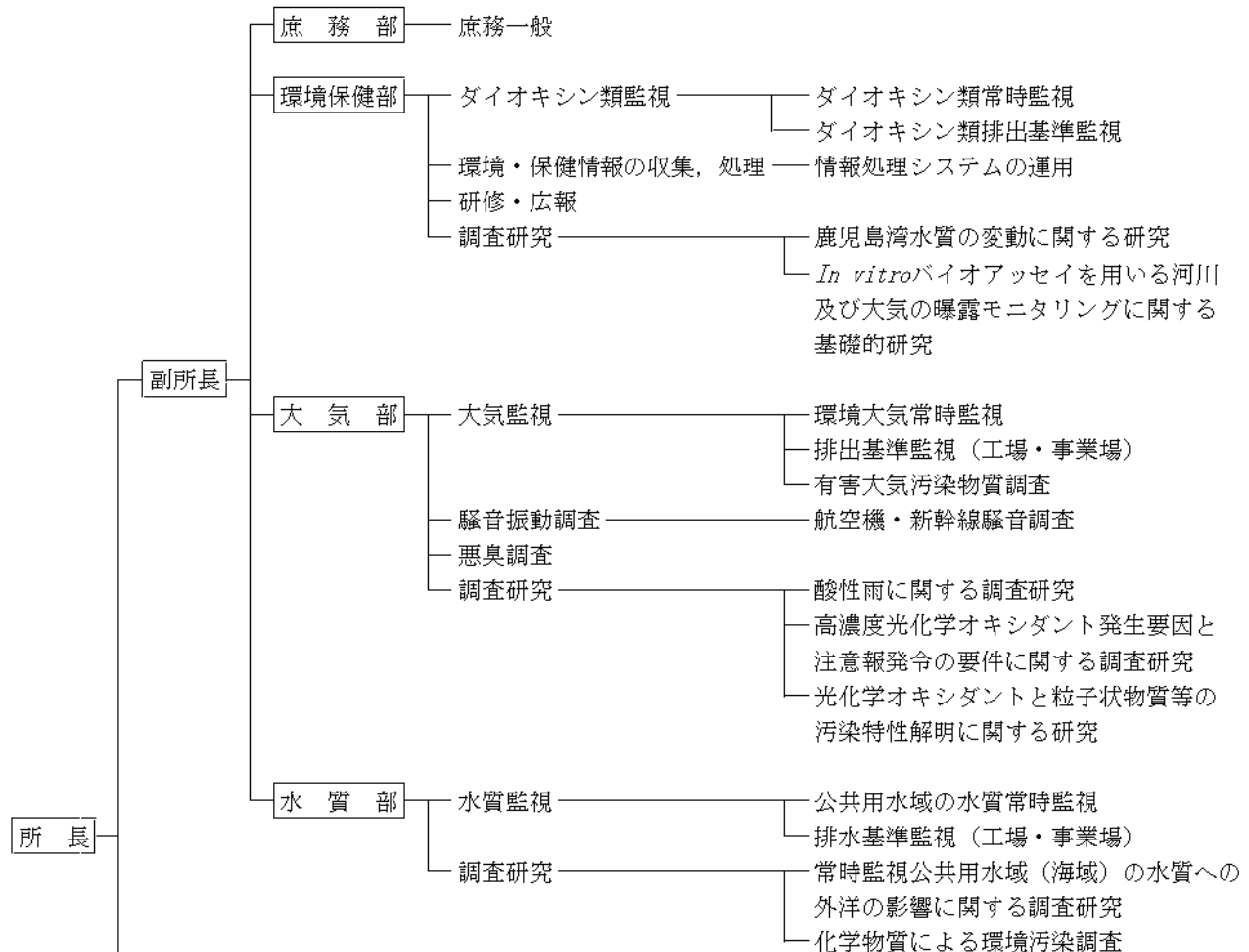


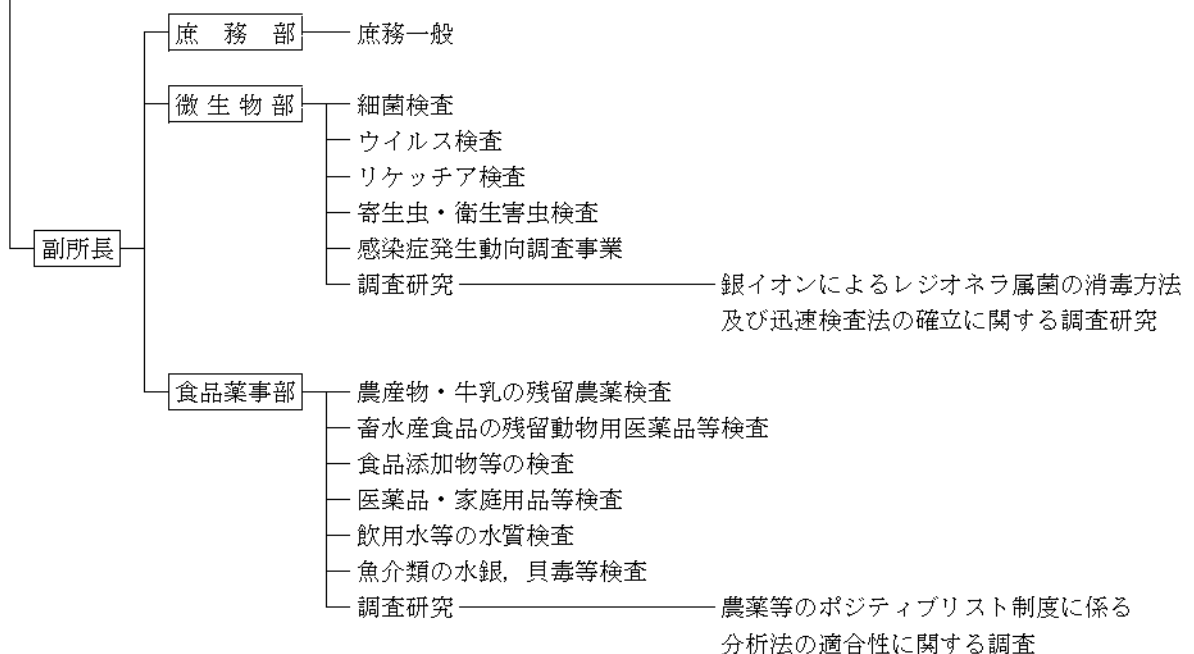
11 環境保健センター

11- (1) 環境保健センター組織

【城南庁舎】



【城山庁舎】



11－(2) 調査・試験研究の概要

環境保健行政の円滑な推進を支援する目的で、国及び他自治体の研究機関とも連携して調査研究に取り組んでいます。これらの結果は、所報にまとめるほか、学会での発表等も行っています。

① 鹿児島湾水質の変動に関する研究（環境保健部）

近年上昇傾向にある鹿児島湾の COD について、その原因究明をするための調査研究を行っています。

② *In vitro* バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究

（環境保健部，大気部，水質部）

機器分析で計測不可能な、生態への化学物質の複合影響を包括的影響を把握するため、手法の基礎的研究や予備的な曝露モニタリングを国立環境研究所や他の地方環境研究所と共同して行っています。

③ 酸性雨に関する調査研究（大気部）

本県における酸性雨の実態を把握するため、降水成分調査を行うとともに、発生のメカニズムなどについて調査研究を行っています。

④ 高濃度光化学オキシダント発生要因と注意報発令の要件に関する調査研究（大気部）

高濃度光化学オキシダントの出現する要因を究明するため、原因となる大気汚染物質の発生状況の把握や気象条件等を解析する調査研究を行っています。

⑤ 光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究（大気部）

光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性を解明するため、基礎的解析（トレンド解析や地域相互の比較など）を国立環境研究所や他の地方環境研究所と共同して行っています。

⑥ 化学物質による環境汚染に関する研究（大気部，水質部）

有害化学物質による環境汚染を未然に防止するためには、過去使用されたものも含めた化学物質の環境残留性の実態把握が必要であることから、大気，水質，底質，生物のモニタリングや曝露量等の調査を他の地方環境研究所等と共同して行っています。

⑦ 常時監視公共用水域（海域）の水質への外洋の影響に関する調査研究（水質部）

これまで監視対象でなかった外洋の水質変動を調査・解析を行うことにより、鹿児島湾等の水質への影響について調査研究を行っています。

⑧ 銀イオンによるレジオネラ属菌の消毒方法及び迅速検査法の確立に関する調査研究（微生物部）

銀イオン（銀担持ゼオライト）による温泉浴槽中のレジオネラ属菌消毒方法及びレジオネラ属菌の迅速検査法の確立に関する調査研究を行っています。

⑨ 農業等のポジティブリスト制度に係る分析法の適合性調査（食品薬事部）

ポジティブリスト制度の円滑な施行に伴い国の示す一斉分析法で行政検査を実施するにあたり、個々の食品に対する分析対象農薬の分析精度を個別に調査し試験法の適合性を確認することにより、検査の信頼性を確保するための調査研究を行っています。